



山口県本部版  
 NO 287  
 治安維持法犠牲者  
 国家賠償要求同盟  
 山口県本部  
 〒754-0004  
 山口市小郡金堀町  
 21番の1  
 林洋武方  
 電話&FAX  
 083 (972) 3987

“日本政府は核禁条約を批准せよ”  
 2022年原水爆禁止国民平和大行進  
 7/21～8/2 山口県内を行進  
 (写真は県庁前での記念式典7月25日)

- ◆ 同盟中央本部は7月16日、「故安倍晋三元首相の『国葬』に反対する」声明を発表。「政府の一方的な評価によって国民の血税を使って『国葬』を国民に押し付けることは、日本国憲法の国民主権の原則に違反するもの」と批判しました。
- ◆ 77回目の終戦記念日にあたる8月15日、同盟は「平和憲法をさらに輝く日本へ」と全国一せいの街頭宣伝や新聞折込などに取り組みました。
- ◆ 国民救援会は、「弾圧・干渉とたたかう心得と私たちの権利」100問100答の冊子を発行。市民運動の一助にしてほしいと呼びかけています。(頒価500円。救援会員は無料)
- ◆ 同盟山口県本部の2022年度総会は10月8日(土)午後から山口市内で開くことになりました。
- ◆ 同盟山口県本部主催の本年度中国ブロック会議は9月開催予定でしたが、コロナ感染予防のため中止させていただきます。
- ◆ 同盟署名到達は7月末現在、個人85筆です。
- ◆ 同盟県本部の9月度役員会議は9月16日(金) 13時30分より共産党県委員会で開きます。

## 最後の4・16被告 田熊真澄さんへ聞く

〈その16〉

田熊 念願の子が出来た時に召集とは「むごいことだと思いましたが、当時の雰囲気で、戦争に行つて生きて帰れるとは思っていませんでした。それで、生まれてきたときには「男なら征爾、女なら冴子」とつけるように紙に書いて封筒に入れて出征しました。私の三七歳の時でした。

国民兵として、下関の高射砲陣地に配属されました。入隊したらすぐ憲兵軍曹が週に一回は来るので「あいつは共産党」ということが中隊中に知られました。軍隊内のリンチもすごかったですね。下関の火の山の陣地では、食事は中腹の兵舎で作つて、めしあげ棒（直径五センチで長さが三〜四メートルくらい）

で担いで下から運ぶのですが、其のめしあげ棒で力いっぱい尻をたたきあげられました。たたくられると二ヶ月ぐらい尻が真っ黒になりましたね。腕立てふせ（「前ささえ」といって尻が出ていると靴で蹴り上げられる）もくりかしやらされました。

相棒になった祝島（現上関町）からきていた男が、少し知恵遅れで覚えが悪くそのたびに「共産党は戦友愛がない」という理屈で私が殴られました。下関市の高射砲隊の本部は九州の甘木にあつて九州人がほとんどでしたが、それだけに山口県人になつて特別に厳しかったようでした。私は百姓をやつて体を鍛えていたので他の人よりリンチには耐えられたと思います。一年後に火の山から彦島の山の陣地に配属代えになりました。そこでは観測兵と言うことで少しは楽になりました。

高射砲陣地は戦場と同じでした。敵機が来たときには、実弾もずいぶん撃ちました。もっとも最後には弾がなくなつて、撃ちたくても撃てないこともありました。

アメリカ機はよく来ました。関門海峡に機雷を投下しに来ていました。小月の飛行隊に「敵機来襲！」など連絡しても迎撃する態勢などありませんでした。丁度、私が外泊許可をもらつて塩田の家に帰つているとき、下関の上空襲がありました。大変の被害でした。（下関では六月二十九日と七月二日に上空襲があつた。）

終戦の報は、彦島の山頂にあつた高射砲陣地で聞きました。その時、私も上等兵になつていました。一五〇名の中隊のほとんどがならんで天皇の放送を聞きました。天皇の声を聞くのは初めてでしたが、「天皇陛下は日

本語のアクセントを知らないんだな」と思いました。放送が終わると「日本は負けた」のだとはすぐわかりました。他の軍隊のように混乱や騒ぎはありませんでした。私だけでなく「家に帰れる。ほっとした感じ」ではなかつたでしょうか。

下士官には個室がありました。私はその個室に、代わり番に呼ばれて「これからどうなるか」と下士官にきかれました。ほとんどの人が「これからはお前達の時代だ」とか「共産党の時代だ」といわれました。

塩田に帰つてきたのは九月二十日過ぎだと思えますが、暴風雨が吹いていて大水が出ていました。

### 治安維持法の撤廃と前科の消滅

田熊 戦後だいが経つて役場から「戸籍の治安維持法違反の前科を消すから印鑑を持ってこい」